

# 熊本市新庁舎整備に関する 基本構想のポイント

現庁舎の課題や市民の皆様からのご意見を踏まえ、  
新庁舎整備の基本的な考え方を取りまとめました！

## こんな新庁舎を目指します！

### あらゆる災害に対応できる庁舎

- 十分な耐震性能の確保
- 浸水に対するぜい弱性への対応
- 防災拠点施設としての機能拡充



### 市民が利用しやすく、質の高い 行政サービスが提供できる庁舎

- 来庁者への配慮・利便性
- 窓口機能の集約等による市民サービス向上
- 効率性・可変性 ●環境負荷の低減



### まちの賑わいに貢献し、 まちづくりの核となる庁舎

- 市民交流・情報発信の場
- まちづくりの核
- 市有地の利活用



### (参考) 市庁舎の歴史



初代庁舎（1889～）  
『熊本市誌』熊本市歴史文書資料室所蔵本



二代目庁舎（1923～）  
昭和初期 熊本市歴史文書資料室所蔵

現庁舎は昭和56年に完成（築43年）



三代目庁舎（1981～）

平常時

市民サービス  
市政全般の運営など

災害時

防災拠点としての  
様々な役割

## 建て替える理由

### ① 耐震性能不足

（現行の建築基準法等が求める耐震性能を有していない）

大きな地震が起きた場合、  
庁舎の中や周りにいる人に危険を及ぼすおそれ  
防災拠点施設としての機能が止まることで、  
災害応急業務や復旧活動等に遅れが生じ、  
市民生活に大きな影響が出るおそれ



### ② 浸水に対するぜい弱性

主要な電気・機械設備等が地下2階に配置されており、  
浸水時に水没し、業務が継続できなくなり、  
市民生活へ大きな影響が出るおそれ

電気・機械設備等の移設をする為に必要な  
耐震補強工事が実施困難



### ③ 老朽化

建物全体の老朽化が進んでいるが、設備の更新等ができていない  
バリアフリーへの対応が物理的に困難な点がある  
アスベスト含有の建材が使用され、  
適切に管理する必要がある

（設備の更新費用を  
約187億円と試算）

※基本構想策定時の試算

老朽化が進み腐食する配管



### ④ 狭あい化

合併による市域拡大や政令指定都市移行による  
業務量増加に伴い執務スペースや待合スペースが狭あい化し、  
来庁者の利便性・快適性が低下

（周辺民間ビルを賃借している状況）  
（年間約1.6億円）

狭あい化が進み混み合う待合スペース



# 必要面積

新庁舎の目指すべき姿を踏まえ、必要な延床面積等を70,300㎡としています。

※基本構想段階での概算であり、確定したものではありません。

機能	新庁舎	(参考) 現庁舎
本庁機能	45,700㎡	34,307㎡ <sup>※1</sup>
議会機能	6,500㎡	6,284㎡
中央区役所機能	7,800㎡	4,593㎡
小計	60,000㎡	45,184㎡
駐車場面積	10,300㎡	8,001㎡ <sup>※2</sup>
合計	70,300㎡	53,185㎡

※1 民間ビルで賃借中のフロア分(5,497㎡)を含む  
 ※2 市役所駐車場(民間所有分を除く)の面積

## 面積算出のポイント

- POINT 01 災害対応スペースは、最大級の災害への対応時に必要な職員等の収容人数を想定
- POINT 02 待合スペース・プライバシーに配慮した相談室の確保、トイレ不足やバリアフリー化に対応
- POINT 03 市民交流・情報発信など多目的に活用可能なスペース等を創設

# 建設地

各候補地の立地特性、建替計画、財政負担額を比較検討し、本庁舎及び議会棟の建設地については、「NTT 桜町敷地」を選定しました。中央区役所は、良好な景観の確保、賑わいの観点から、本庁舎及び議会棟とは分けて建設することとし、各候補地を比較検討した結果、「花畑町別館跡地」を建設地として選定しました。



# まちづくり

新庁舎単体の在り方のみならず、周辺施設との回遊性や中心市街地全体の賑わい、地域・経済交流などに質する、庁舎を核としたまちづくりを目指します。

**新たな都市機能の誘致**

経済波及による民間投資の活性化等

**周辺の老朽建築物の建替え促進**

防災機能や避難スペース確保、まちの活力向上等

**賑わい・回遊性向上**

誰もが歩いて楽しめるまちなかウォークアブル推進等

現庁舎跡地は、そのポテンシャルにふさわしい利活用について検討を行い、中心市街地、さらには本市全体の活性化につなげます。

# 概算事業費

※基本構想策定時の試算

概算事業費

**約616億円**

※土地取得費・補償費等は、今後、調査・協議していくものであり、金額については確定したものではありません。また、各費用は、条件等により見直し・再算定が必要な項目もあり、今後変更となる可能性があります。

内訳	金額
設計費	約20億円
建設費	約360億円
駐車場整備費	約61億円
土地取得費	約70億円
建物補償費	約13.5億円
現庁舎解体費	約90億円
移転費	約1.5億円

国からの財政支援等

**約361億円**を差し引くと

実質的な財政負担

**約255億円**

- (A) 国庫補助金 約2億円
- (B) 地方交付税 約226億円
- (C) 跡地収入 約133億円

# これからのスケジュール

令和7年度から基本計画の策定にむけた検討を進めていきますが、今後もより積極的な情報発信に努めるとともに、アンケート・ワークショップ・パブリックコメント等を実施し、広く市民の皆様の御意見を頂きながら進めます。



【担当課】  
 熊本市 政策局 庁舎整備部 庁舎建設課  
 【TEL】  
 096-328-2089

基本構想

よくある質問

新庁舎のコンセプト検討のため  
皆様の声を聞かせてください

新庁舎、  
あなたが期待するポイントは？

A grid of 40 speech bubble icons arranged in 8 rows and 5 columns. Each icon is a white speech bubble with a green outline and a yellow-to-orange gradient shadow. Inside each bubble is a small illustration of a stylized building or office structure.

日時・場所：

# みんなで投票してみよう！ 市民利用スペースに あったらいいなと思うもの

例えば、  
屋外スペース、  
エントランスホール、  
屋上など

(1) 子どもが遊べるスペース



(2) 自由に会話や飲食などができるスペース

(3) カフェや軽食を提供するお店 (休憩スペースの近く)



(4) ちょっとしたPC作業や自習等に使える静かなスペース

(5) コンビニや物販店等の商業施設

(6) 金融機関・ATM

(7) 図書に触れられるスペース

(8) 市民活動などに利用できるスペース

(9) イベントが実施できるオープンなスペース

(10) 観光や歴史、市政等に関する情報発信スペース

(11) 緑や水などの自然を感じるスペース

(12) 熊本城やまちの風景を見渡せる展望スペース

(13) 雨に濡れない開放感のある屋根付きの屋外スペース



日時・場所：